

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立安行小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	まじめな子 あかい子 がんばる子
目指す学校像	光る所を伸ばし、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	8名
事務局 (教職員)	3名

学校自己評価					
領域	年度目標			年度評価 (令和3年2月1日現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	<p>短期の評価を定期的に行い、各分掌に主体的に取り組みさせて教職員一人一人の学校運営への参画意識高揚を図ること、及び不登校対応を含め、子どもを褒めて成長させ、自信を付けさせる組織的取組が必要である。</p>	<p>○PDCAサイクルに基づく組織的活動の活性化の実現</p> <p>□子どもの良さを認め、褒め、伸ばすことによる自己肯定感を高める教育活動の実現</p>	<p>○報告・連絡・相談・確認・見届けと共通理解・共通行動の徹底を図る。</p> <p>○教職員の間学校評価、個々の自己評価シートの進捗状況確認・支援を行い、短中期の評価・改善に生かす。</p> <p>□光る所を伸ばすプロジェクトチームを組織して、お互いの良さを認め合える学級づくりを進めることで、どの児童にも良さを自覚させ、自尊感情を高める。(全校927名の光る所発見、伸長)</p>	<p>○学校経営方針が各所に浸透し、PDCAサイクルに基づいて、組織として有効に機能することができた。</p> <p>□全校児童へ、個々の光る所に応じた「キラキラ賞」が渡り、良さを認め合い、褒めて伸ばす学校風土が定着してきた。</p>	<p>A</p> <p>●不登校傾向児童への対応をさらに充実させ、不登校を減少させることが大きな課題である。今年度新規で取り組んだZOOMによるオンライン学習や、今年度は場の確保が困難であったステップルールの設置など、不登校児童個々のニーズに応じた粘り強い働きかけが必要である。</p>
教育課程	<p>新型コロナウイルス感染症対応による休校期間中も学習保障の取組が必要である。また、学校再開後においても学習内容の遅れを取り戻し、確かな学力をつけるため、年間指導計画を見直し、教育課程を柔軟に実施することが求められる。</p>	<p>○休校中の家庭における学習保障及び年間をととした教育課程の柔軟な実施と個々に応じた学力の向上</p>	<p>○休校中は、家庭学習の見直しを持ってよう、ホームページ等で1週間の学習計画表や学習補助動画を示す。</p> <p>○行事等の実施可否や学習内容の精選、入れ替えも含め、状況に応じて優先順位により、柔軟に対応する。</p> <p>○「教室は間違う所だ」の意識化による学び合いの促進や、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりなどにより、「考え、話し合い、学び合う学習」を深化させる。</p>	<p>○県立近代美術館、埼玉大学准教授、科学館等の出前授業や、オンライン社会科見学など、今できる工夫により、学びを充実させることができた。</p> <p>○県学力学習状況調査において、大きな伸びが見られた。</p>	<p>B</p> <p>●非常事態宣言下の校外学習他、今後の各種教育活動については、判断材料を整え、状況に応じて何が最適・最善か判断する。</p> <p>●自分の考えを書き、説明し合う場の設定や、児童同士の教え合いを重視することにより、思考力・表現力を高める。</p>
開かれた学校づくり	<p>コミュニティスクールとして、地域と新たな協体制を築くこと、及び保護者のボランティア活動、地域との交流活動を活性化させ、学校応援団の組織化に取り組み、家庭・地域の教育力を更に生かしていくことが課題である。</p>	<p>○積極的な情報の発信による保護者・地域との連携の強化</p> <p>□学校応援団と連携した地域の教育力の活用</p>	<p>○リニューアルされたホームページによるリアルタイムの更新をさらに進める。</p> <p>○学校運営協議会で、安行小の光る所と課題、及び具体的な改善策を共有し、学校運営に反映する。</p> <p>□毎月25日のニコニコあいさつデーに係る保護者・地域の協体制をつくり、浸透させる。</p> <p>□学習支援等で学校応援団にお力を頂いた様子をホームページや学校応援団便り等で積極的に周知し、さらに募集する。</p>	<p>○休校中も含めたHPによる積極情報発信により、保護者評価が昨年度比で10%以上アップして約93%の満足度となった。</p> <p>□コロナ禍でも、おやじの会による校庭イルミネーション設置(新規)や縄跳びジャンプ台作成等の協力を得て、大変ありがたい。</p>	<p>A</p> <p>●保護者評価で「地域との連携」「安行小の教育活動に満足」の項目が昨年度比10%以上アップしたが、今後も信頼関係構築に全力を尽くす。</p> <p>●学校運営協議会が緊急事態宣言のため、1回しか開催できなかった。ニコニコあいさつデーも機を見て、保護者・地域の協体制を拡充する。</p>
教職員の資質向上	<p>どの学年学級でも児童の学力を伸ばせるよう、全教職員の授業力を向上させるとともに、初任者や若手教員の計画的な育成を図ることが必要である。</p>	<p>○校内研修における教職員同士の学び合いを核とした授業力の向上</p>	<p>○安行小基本授業スタイルを全ての授業で実践する。</p> <p>○校内研修等で、教職員同士も学び合いにより優れたスキルを共有化することで、授業の工夫・改善を進める。(1人1授業公開)</p> <p>○市教委要請訪問と管理職による若手教員研修を計画的に実施する。</p>	<p>○安行小基本授業スタイルが概ね定着してきた。</p> <p>○学力を伸ばす温かな学級経営等を学び合った。</p> <p>○若手研修も、指導主事から個別に指導・助言を受け、有効であった。</p>	<p>A</p> <p>●GIGAスクール構想により、児童1人1人に1台のPC端末が用意されたこの環境を最大限に有効活用した授業を展開するために、教職員のICT研修が急務である。</p>
施設・設備等の管理	<p>安全管理の徹底と施設・設備の迅速な修繕、計画的な予算の執行と清掃活動に力を入れて老朽化に対応することが課題である。また、教職員の危機管理意識の高揚を図ることも必要である。</p>	<p>○教職員の危機管理意識の高揚による施設・設備等事故ゼロの達成</p> <p>□掲示物と清掃活動の充実による学習環境の整備</p>	<p>○ポイントを明確化した定期点検と日常の安全点検を徹底する。</p> <p>○迅速な修繕など適切な事後処理により、安全な施設・設備を維持する。</p> <p>□児童のやる気が高まり、笑顔につながる掲示物を計画的に作成する。</p> <p>□清掃活動の共通指導を徹底し、きれいな環境をつくる。</p>	<p>○安全点検に事故防止強化項目を新たに追加して取り組み、施設設備等事故ゼロを達成した。</p> <p>□トイレの正しい使い方等掲示物を充実させた。</p> <p>□無言清掃が定着しつつある。</p>	<p>B</p> <p>●トイレの臭い、美化が課題であり、トイレに足形をペイントし、小便狙い所シールを貼り、尿石除去をしたことで臭いも大分軽減された。おやじの会によるトイレの高圧洗浄も開始した。引き続き重点として対応する。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和3年2月10日

学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人の学校運営意識高揚は素晴らしい。公益優先に考え実践できる児童育成を。 ・子供は褒められ成長するので友達の良い姿を見つけて伝え合うキラキラ賞の取組は大変良い。 ・児童には、教師の心の宿った伝え方を引き続きお願する。 ・不登校の要因にいじめ、ゲーム脳による生活の乱れ等があるのではないかと心配である。不登校児童へのきめ細かい気遣いや早期対応は良い。 ・保護者の協力や指導を推進してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で国をあげて悩み苦しむ現在、教育委員会指導のもと、本校はよく努力している。 ・県美術館教授や科学館の出前授業等の外部の有効活用は素晴らしい。 ・「教室は間違う所だ」という理念は学びの楽しさにつながる良いものなので、全教職員で共有して児童に生かす努力を。 ・子供達が興味を持ちそうなことをたくさん実践できているので、今後は、学力のアップを期待する。学校と家庭との協力が学力向上には必要。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・社会が三位一体となり力を尽くさねば良い子供は育成できないが、安行は地域全体が学校教育に力点を置き協体制がある。 ・学校応援団と密の連携で保護者・地域の教育力向上を。地域一体で安行小を盛り上げたい。 ・イルミネーションは素晴らしい取組。 ・朝の挨拶はまだ身に付いていない。 ・HP等で学校の様子を目にできたことは良い。 ・保護者アンケートで、子供達は楽しく学校生活を送り、コロナ禍でも教職員の頑張る様子が分かった。反面厳しい意見にも耳を傾けることでもっと笑顔あふれる学校になるだろう。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の習得は、学校教育の原点。個人差はあるが、個々の良さを認め伸ばすことが大切。最終的には『人間力』を習得させたい。 ・古い由緒ある部分と最先端のもの、ともに大切にしてほしい。 ・市教委要請訪問等で指導主事や管理職から個別に指導を受けたことは努力が見受けられた。 ・学校教育は自己肯定感を高める場。感情論で児童に乱暴な言葉掛けがあってはならない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の老朽化に伴う様々な問題があり同情する。市に積極的にアピールし、施設設備の修繕等は予算を要求して対応を。 ・教職員の危機管理意識が高く、校舎全体がきれいになっていて感謝。おやじの会にも感謝。 ・今後は更に内外一丸となり、古くも人の手に磨かれ味のある『光』を見出せる学校に。 ・子供達の作品等掲示物は常に充実している。 ・強風時に校庭の砂嵐有。水撒き等が必要。 ・トイレは日々使うので、今後の取組に期待。 	